

農地機構だより

～人と農地をつなぐ～ 第34号

(公財)しまね農業振興公社

(農地バンク)

2021年 8月 発刊

松江市黒田町432番地1

0852-20-2871

中間管理事業とほ場整備事業との 連携事例を紹介します!!

浜田市の弥栄地域では、地元農業者の負担がなくほ場整備を行うことができる、農地中間管理機構関連農地整備事業（以下「機構関連事業」といいます。）の活用が検討されています。

機構関連事業では、ほ場整備を行う前(従前地の状態で)、農地を長期(15年以上)で公社に貸し付ける必要があります。

これを、ソフト・ハード共に円滑に実施していくために、『農地中間管理事業について理解を深めてもらうこと』を目的に、浜田市の農地中間管理事業担当部署とほ場整備担当部署を対象に合同で研修会を行いました。

内容は以下の3点です。

- ①農地中間管理事業の内容説明
- ②機構関連事業に取り組むに当たっての留意点
- ③地域説明会で用いる資料等

【参加者】

浜田市農林振興課

中間管理事業担当部署：4名

ほ場整備担当部署：5名

県関係機関

西部農林水産振興センター：2名

土地改良事業団体連合会：3名

当公社：3名（平塚、中川、植本）



資料の抜粋

○農地中間管理機構関連農地整備事業への取り組みについて

取り組みにおけるスケジュール（例）

	6			7			～	10			11			12			1			2			3		
	上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ハード関係事務																									
ソフト関係事務																									

押印作業

事業対象農地全てについて
農地中間管理権を取得する
必要がある。

2

○農地中間管理機構関連農地整備事業への取り組みについて

中間管理権の設定内容について（これまでの事例を参考に）

地域によって契約の状況はさまざま 集積の状況（既に担手が集積をしているorしていない。）、中間管理権の利用状況（しているorしていない。）、賃借料の状況（金納、物納、使用賃借）など。
地域の話し合いによって、契約のやり方を検討する必要があります。
例、使用賃借で統一 例、既存の契約があるものは、その契約形態を活かす。契約のないものは使用賃借。 （注意） 既に中間管理権が設定されている農地について、契約期間が県の事業計画書公告の時点で15年未満となるものは、<u>契約の整理</u>が必要です。
※平成29年9月25日以前に中間管理権設定⇒集積計画の撤回 ※平成29年9月25日移行に中間管理権設定⇒集積計画の変更
※機構関連事業が創設された日

3

- 農林水産振興センターを中心に、各機関が情報共有・連携し、地域と一緒に本事業に取り組むことが重要
- 事業採択に向け、公社への農地貸付けのスケジュールにメ切があるため、共通認識を持って取り組む
- 公社がこれまで関わった機構関連事業取組地区での課題を共有し、本地域でも課題が発生した際の参考とする
- 発生した課題について、縦割りで対応するのではなく、関係機関で情報共有し、一緒に解決していく

●開催を終えて

【参加者の感想（浜田市弥栄支所産業課 曾我係長）】

農家の高齢化・後継者不足により農地荒廃が進む中、将来継続して農地管理をするためには、引退される農家の農地を担手に集積していくことが必要です。弥栄地域では人・農地プランを活用し、集落の将来の農地管理の方針をまとめています。また、核となる担手が将来管理しやすい農地へ整備するとともに効率的な集積を図るため、令和5年度採択に向けて機構関連事業の調整に取り組んでいます。

農地中間管理事業を活用し公社が仲介することで、出し手受け手ともに事務の簡素化、窓口の一本化等が図れることを期待しています。

機構関連事業に取り組むことで弥栄地域が将来にわたり継続した農地管理が可能となり、本取り組みを浜田市のモデルと位置づけ他地域に波及していけるよう、関係機関の皆様のご協力をいただければと思っています。

【主催者の感想（島根県西部農林水産振興センター 今井企画幹）】

弥栄地域のほ場整備計画は、事前調査の段階であり、この時期に関係機関と中間管理権設定に必要な作業及びスケジュール感を共有することができた本研修は、とても有意義なものでした。

また、中間管理権設定にあたっての課題については、関係機関と連携し、地元役員への周知や地元説明会を通じて土地所有者（出し手）の理解度を高めていきたいと思っています。

編集 後記

7月豪雨災害につきましてはお見舞い申し上げるとともに、早期復旧をお祈り申し上げます。

さて、機構関連事業の取り組みをきっかけとした合同の研修会を開催しましたが、説明後の質疑応答もさせていただき、約2時間という時間ではありましたが、良い研修会になったかと感じました。今後、機構関連事業への取り組みを進めていただくに当たり、本研修会での内容を活かしていただければ幸いです。（平塚）